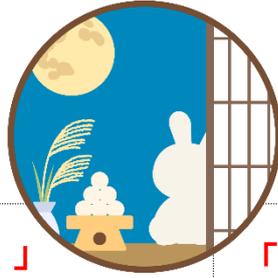


守谷ボランティア NEWS

2022年9月号 (毎月1日発行)



＜発行＞ 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL：https://moriya-cac.org/
開館時間：午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
休館日：月曜日、年末年始

「健康体操で体を動かそう！」

コロナ禍で運動不足になっていませんか。
パタカ体操で軽く汗をかいて運動不足を解消しましょう。ご参加をお待ちしています。

- 日時 10月20日(木) 10:30～12:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 定員 10名
- 参加費 無料
- 主催 女性セミナーミレニアム
- 申込方法 9月19日(月)～10月12日(水)迄
電話で申し込む(ショートメール也可)
- 申込・問合せ先 星 ☎090-9153-5589

「こども新聞」展示会

毎年恒例の小学4～6年生が夏休みに作成した新聞を展示します。

子どもたちの心豊かな成長が現れた力作の数々をご覧ください。

- 日時・会場
イオンタウン守谷 9月12日(月)～25日(日)
市民活動支援センター 9月27日(火)～10月9日(日)
- 問合せ先 市民活動支援センター

HPで過去の作品を参考にしてね!!



「病気はチャンス！」～治る力を引き出す漢方～

いつまでも健康で幸せに生きたい、と思いませんか？

「意識を変えることで、病気はピンチではなく、より健康で幸せな人生を作るチャンスに変わる」と語る喜多氏。予約が取れない専門医として、知る人ぞ知る喜多氏の講演会にぜひご参加ください。

- 講師 喜多 敏明 氏(きた としあき)
医学博士、漢方専門医・指導医、辻仲病院柏の葉・漢方未病治療センター長
- 日時 10月8日(土) 10:30～12:00(10:00開場)
- 会場 市民交流プラザ市民ギャラリー
- 定員 先着45人
- 参加費 無料
- 申込方法 9月16日(金)10:00から専用申込フォームまたは電話で申し込む
- 主催・問合せ先 市民活動支援センター



申込フォーム

登録団体活動情報 9月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

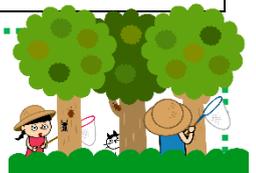
団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ヶ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第3(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター

助成金情報 *内容に変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

社会教育	～9/22 スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム 公益財団法人 住友生命健康財団 https://skzaidan.or.jp/
まちづくり	～9/30 公園・夢プラン大賞2022 一般財団法人公園財団 https://www.prjf.or.jp/
医療・福祉	～10/7 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成 認定NPO法人取得資金助成 公益財団法人 SOMPO 福祉財団 https://www.sompo-wf.org/

編集後記

都会育ちより田舎育ちのほうが、空間認識能力が優れていることが報告されています。さらに、育った環境の地形が不規則的で複雑であるほど、その能力は高いそうです。整備されていない山や森といった複雑な地形の中で遊ぶには、頭の中で地形などの複雑な立体構造や自分の位置や状況などの身体性情報を処理していく必要があります。一方で、整備され直線的でシンプルな地形を持つ都市で育つと、それほど高度な処理が必要ありません。能力は幼少期の日常的な遊びの中で身につくとされています。ほどよい田舎の守谷市。まだまだ緑を武器にする方法はあります。大いに活用しましょう。





こんにちは！守谷のボランティアさん

～みんなで作ろう布絵本「守谷の図書館を考える会」の活動取材しました～

2022年7月3日（日）13:30～14:30 @中央図書館

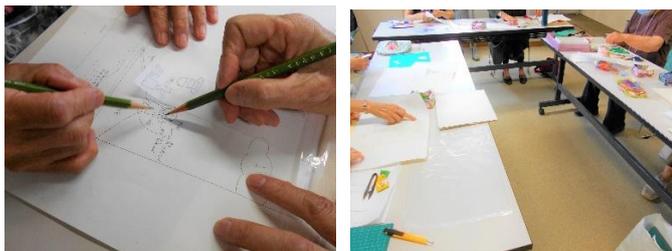
守谷の図書館を考える会にて実施している「みんなで作ろう布絵本」の活動にお伺いしました。

布絵本とは、文字通り布で作った



絵本です。絵本の中の昆虫や動物に触ったりすることで、数字の数え方、ボタンやファスナーの扱いを学習できるだけでなく、大人から子どもまで幅広い年代で楽しめる絵本です。

絵本の作成には、いろいろな部品となる布を切り取ったり、針と糸で細かく縫い付ける作業が必要です。守谷の図書館を考える会では、現在ボランティア希望者20名とスタッフ7名の合計27名で布絵本作成を行っています。



図書館3Fの集会室を活動拠点にして、月に2回は都合の方々が集まって作業をするだけでなく、場合によっては自宅に持ち帰って作業を行い、年に数冊の布絵本の作成を目指しています。

布絵本を手作りすることはとても大変ですが、共通の趣味の方々が集まれることで、コミュニケーションが広がることと、手作りでないといわれない温かみが得られるとのことでした。



作成した布絵本は、多くの方々に手に取って貰えるように図書館に寄贈しています。布絵本では、絵本の部品（野菜、昆虫、ビスケット、動物・・・など）が自由に取り外しできるという楽しみがあります。半面、取り外した部品の紛失対策や補修が必要になるので現時点では貸し出しはしていませんが、図書館の1Fにて自由に閲覧は可能です。

もっと部数を増やし、貸し出しもルール化されると、より多くの方に触れてもらえて、布絵本の良さが広がることでしょう。



守谷の図書館を考える会では、引き続きボランティアスタッフを募集しています。一度、図書館で実物を見て、布絵本の暖かさに触れてみてはいかがでしょうか。

<取材：市民活動支援センター>